

コンピュータネットワークを利用した情報管理システムの開発

電子部 永吉 弘己

当センターではスーパーミニコンVAX 8850とパソコンPC 9801をイーサネットで接続し、所内LANを構築しています。このLANを利用した情報管理のためのプログラムを開発しました。情報管理の主な内容は次のとおりです。

- (1) 電子掲示板 …… 行事予定、お知らせ等
- (2) 業務報告 …… 技術相談・指導、設備利用状況等
- (3) データベース …… 企業名簿、図書、機器、研究報告等
- (4) 電子メール …… 業務連絡、情報収集・提供等

このプログラムを開発するうえで、利用者の負担を軽減するためにメニュー形式にし、簡単に操作できるように配慮しました。

また、LANを利用した情報管理は初めての試みでもあり、試作プログラムを作り、利用者の意見・要望を取り入れて仕様を固めていくプロトタイプ的な開発を行いました。

放射性電磁ノイズの簡易測定法に関する研究

電子部 尾前 宏

電子機器の電磁ノイズ問題に関する研究の一環として放射性電磁ノイズの簡易測定法に関する研究を行いました。当センター内の木材乾燥場にて、外来ノイズの影響、電磁環境（サイトアッテネーション）特性、規格に準拠した測定場との相関性について確認を行い、次の結果を得ました。

- (1) 外来ノイズの影響…放送波、各種無線電波が主であり、北西、南東方面が影響が少ない。
- (2) サイトアッテネーション特性…理論値 ± 3 dB以内であり、規格で規定されている誤差内である。
- (3) 相 関 性…長野県精密工業試験場のオープンサイトでの測定と ± 5 dB以内の偏差が生じたが、偏差の傾向をもとに測定値を補正することによりこの影響を軽減できると思われる。

以上の結果から、木材乾燥場が簡易測定場として使用できる事を確認しました。今後は、電磁ノイズ対策技術の研究に利用していく予定です。